

## 平成23年度亀岡市立病院運営委員会議事録（要旨）

開催日時 : 平成23年12月2日（金）午後2時00分～4時10分  
開催場所 : 亀岡市立病院 2階ウェルネスホール  
出席委員 : █████、████、████、████、████、████  
計7名（全員）  
病院職員 : 坂井病院事業管理者、上田病院長、天池副院長、川口看護部長  
田川管理部長、野中総務課長

〈内 容〉

開 会 （司会進行・田川管理部長）

○開会あいさつ（坂井管理者）

昨年は診療報酬の改定もあったが、全国的にも公立病院の経営は依然として厳しい状況にある。今後とも医師の確保を図りながら健全な病院経営に努めたい。東日本大震災においては、医療施設も大きな被害を受けた。こうした実態を踏まえ、公立病院として重要性、必要性を改めて認識したところである。改革プラン3年目となり、その結果を見極め、更に向上していきたい。開設から7年が過ぎ、平成22年度決算では経常収支において、開院以来初めて黒字決算となった。このことも含め、本日の運営委員会では皆様方のご協議をいただきたい。

○委嘱状交付 坂井管理者から各委員に対し委嘱状交付

○委員紹介、職員紹介

○会長選出

選出方法は、事務局一任となる。委員の互選により████委員を会長に選出

○会長あいさつ（████会長）

会長という大役を務めますが、皆様の病院に対するご意見、話を聞かせていただき、有効なサジェスションとなるよう期待します。

○副会長選出

████会長が████委員を指名し、全員一致で承認

○議 事（████会長が進行）

(1)改革プランの実施状況について

事務局より資料に基づき説明（野中総務課長）

- ・市立病院の概要
- ・入院患者数の推移

- ・外来患者数の推移
- ・決算状況の推移
- ・改革プランの実施状況【経営指標】について
- ・経営効率化の取り組み状況について

〈質疑応答〉

■ 委員

職員数の推移が知りたい。表にして作成してください。

野中総務課長

後日になりますが、作成しておきます。(野中課長)

(口頭で職員数の推移を伝える。)

■ 委員

この会議に来る途中、開催場所を1階にいた警備員に尋ねたが、当該会議のことは知らなかった。会議室の場所の案内のみとなった。本日の会議が病院存続に関わる大事な会議であるにも関わらず、委託の職員とは思いますが、総じて危機感がないように思える。

22年度は黒字決算となったが、その理由としては、診療報酬改定の影響か。

上田病院長

診療報酬改定の影響は少ないと思います。当院は開院以来、高度急性期医療を推進しており、22年度は入院件数、外来件数の増加が大きな要因であると思います。

天池副院長

外科手術の件数は例年の1.5倍の件数となっている。また、化学療法の増加もある。

坂井管理者

入院患者の平均在院日数が減少してきていることもあり、病床利用率も向上している。

■ 会長

外来患者が増えれば、医師の負担が増え、高度医療ができないことになる。市立病院には高度医療を担っていただくようお願いしたいところである。

■ 委員

在宅医療のサポートはどうですか。また、災害時における施設の機能は、どこまで対応できるのですか。

坂井管理者

在宅医療については、皆様と一緒に検討していきたい。また、災害時の当院の対応能力としては、非常用自家発電設備の持続時間は病院貯蔵の重油を用いて、最大約95時間、約4日間であり、食料については病院備蓄の非常食により入院患者1日80

人分として約3日分を確保、飲料水についても病院の受水槽等により一定期間は確保できる状況であります。

■副会長

会計基準の適用法は何ですか。

野中総務課長

地方公営企業法に基づいて会計処理しています。

■委員

看護職員の退職、産休等の状況はどうですか。

川口看護部長

看護職員の退職は年度途中でもありますし、毎年産休、育休を取っている看護師は何人かいる状況です。退職による欠員は常勤職員で補充しており、産休育休の場合は非常勤職員で度々補充採用しているところです。結婚Uターンもあり、看護職員の確保に努めています。

■会長

私自身は高度医療を推進していくべきだと思う。急性期医療の病院として、外来患者は少なくしていったよと思っている。決算説明の中で、救急医療経費として一般会計からの繰入金が1億6千万円となっているが内容は何か。

野中総務課長

救急医療経費に係る繰入金の内訳ですが、救急医療に関わる医師、看護師等の人件費が大半で約1億2千万円です。また、救急用のベッドを7床確保しているためのいわゆる空き床補償として約4千万円を積算しています。

■副会長

決算が黒字になった要因を十分精査しておいてほしいと思う。

田川部長

わかりました。

○閉会あいさつ (■副会長)